

## 第 4 回: WWW の利用

担当: 千葉庄寿 (schiba@reitaku-u.ac.jp)

[http://www.FL.reitaku-u.ac.jp/~schiba/lit\\_r/](http://www.FL.reitaku-u.ac.jp/~schiba/lit_r/)

### 1. インターネットの基本

- 今日のコンピュータは、**ネットワーク**に接続されることでより力を発揮する<sup>1 2</sup>。各組織のコンピュータは、**LAN** と呼ばれるコンピュータ・ネットワークに接続される。各組織は LAN を自律的に管理・運用している。
- ネットワークとネットワークを相互に接続することにより、世界中に広がったネットワーク環境を**インターネット**と呼ぶ。
- **WWW** は**インターネット上の情報サービスのひとつ**で、テキストやマルチメディアデータの共有システムである。インターネットにつながっていれば、一貫したやり方で情報にアクセスできる。
- インターネットを情報収集や情報発信の道具として使いこなす能力「インターネット・リテラシー」を身に付けることが、コンピュータ・リテラシー能力の一つとして欠かせない。インターネット・リテラシー能力には、インターネットを使いこなせること以外に、危険に対処する能力やネットワーク上での正しいマナー（ネチケット）を身に付けていることが重要となる。
- ネットワークのキーワード
  - コンピュータ・ネットワーク／ネットワーク vs. スタンドアロン／LAN／インターネット／イントラネット／サーバー vs. クライアント
  - ネチケット (netiquette)
- WWW のキーワード
  - HTTP／URL／ハイパーリンク HyperLink とハイパーテキスト HyperText／HTML／MIME／WWW サーバーと WWW クライアント(=WWW ブラウザ)／検索エンジン

#### URL の例:

<http://www.fl.reitaku-u.ac.jp/~schiba/index.html>



※ URL により、インターネット上に存在するあらゆるデータのありかを一意に指定することができる。

<sup>1</sup> ネットワークに接続されないコンピュータを「スタンドアロン」と呼ぶ。

<sup>2</sup> 例えば、学内のどの PC にもログオンすることができたり、file\_server の [user-id] のようなネットワーク上の別のコンピュータにあるディスクスペース（「ネットワークドライブ」という）を利用したりできるのは、LAN に接続されているおかげである。

## 2. WWW ブラウザの使い方

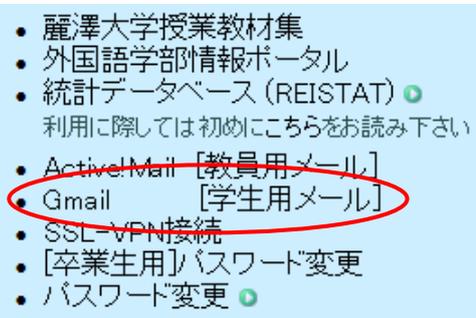
- ブラウザの基本操作
- 情報の表示方法
  - (1) リンク (ハイパーリンク) をたどる。
  - (2) URL を指定する。(ほとんどの場合, URL は半角(IME は OFF)で入力する)
  - (3) **検索エンジン** (Yahoo, Infoseek, goo, google など) を使う。  
 情報システムセンターのホームページにある「検索エンジン」のページ (URL: <http://www.reitaku-u.ac.jp/othersite/ijsearch.htm>) に主要な検索エンジンへのリストがある。アクセスしてみよう。
- 外国語ウェブページの閲覧と文字化けへの対応: 文字コードの指定
- ユーザ設定
  - 文字の大きさ
  - フォント
  - ブックマーク

## 3. WWW 利用上のマナーと注意

- WWW 上の情報は, 正しいとは限らず, また, 質の高い情報ばかりではない。利用者を欺く悪質なサイトも多い。
- データはネットワークを通じてやり取りされるため, 送信中にデータを盗み見られる可能性がある。個人情報の送信の際はよく注意する。
  - SSL (Secure Socket Layer) のように, データを暗号化するサービスもある。この場合は, 以下の例のように, URL の最初のプロトコル名が **http** でなく **https** (s は「安全な」という意味の *secure* に由来) になる。  
 例: <https://mail.cs.reitaku-u.ac.jp/active-mail/>

## 4. 次回の授業のための準備

- 次回, 電子メールの実習をおこなう。実習では, Gmail を使ってメールの送受信をおこなう。
- 麗澤大学の学生用 Gmail のログイン画面は, 情報システムセンターのホームページ (<http://www2.reitaku-u.ac.jp/risc/>) 中央のメニューにあるリンクから開くことができる。また, デスクトップにもアイコンがある。大学で電子メールをほとんど使わない人は, 本日の授業の中で正しくログインできるかどうかを確認すること。



**次週の予定**

- 電子メールのしくみと利用方法を学習する。
- Gmail の基本操作と上手な利用方法を実習する。
- 中間テストでは第 6 回までの授業内容を問う試験と TypeQuick 試験 (2 回目) をおこなう。次回授業で試験の内容を確認する。
- TypeQuick の練習を続ける (合格していない人のみ)。

**次週準備するもの**

- **これまで授業で配布した資料 (重要! 試験の範囲と内容を確認します)**